

テーマ

## 市民と職員が共により良い岐阜を創る場所

### 関係部署をまとめ、市民・職員共に快適で使いやすい庁舎に！

- ①ワンストップ窓口による窓口の集約化
- ②関係のある部署は近くに配置し、資料および人材の部署間の連携を高め、スペースを有効活用する



#### 職員が働きやすい空間づくり

狭く使い勝手が悪い執務空間を、職員一人あたりのスペースを適正なものにする。

- 「具体的には」
- ・執務空間に十分な収納を設け、公文書は庁舎内に設置
  - ・低い棚を窓際に設置し、使いやすく明るい執務空間にする

すると ↓

**市民サービスの質が向上！**

結果的に ↓

効率よく仕事ができ、職員の残業時間が減る。

つまり ↓

**経費を削減できる庁舎に！**

- 「さらに具体的なアイデアとして」
- ・天井を高くして照明を少なくしランニングコストをおさえる
  - ・トイレのペーパータオルはハンドドライヤーにして消耗品をなくす
  - ・空調負荷の高い全面の開口（ガラス張り）を止めて、冷暖房のコストを削減
  - ・多目的トイレは男女共有にしてまとめる
  - ・今ある備品で使えるものは使う（既存利用）

#### 誰もが快適に使える

##### 庁内を動きやすく

- ・見通しよく分かりやすい動線
- ・段差を解消する
- ・バス停から雨に濡れず庁舎に入れる動線を確保する
- ・十分な駐車場を確保する（他の駐車場と提携して、共同で使えるようにする）

「具体的には」

- ・廊下にモノを置かない
- ・吹抜をつくり、上下階を見やすく
- ・エスカレーターを設置

##### 子供、高齢者、外国人への配慮

- ・高齢、福祉関連の部署を1階に配置
- ・子供スペースを広く設ける
- ・エレベーターに鏡を設置
- ・授乳室に給湯スペースを設置

##### 情報を得やすく

- ・情報を総合案内に集める
  - ・外国人向けの対応案内をする
  - ・各課への案内はすべての人が分かりやすいデザインにする
  - ・入りやすい情報公開室にする
- 「具体的には」
- ・分かりやすいデジタルサイネージ
  - ・窓口に職員が説明用に使えるタブレット端末を設置する

##### 立地を活かす

- ・官公庁エリアにふさわしい風格のある外観デザイン
- ・メディアコスモスと一体にぎわいを生む
- ・防災拠点にもなる庁舎
- ・南庁舎など近隣の既存施設を利用しコミュニティサービス（市民会議や講座など）を受けられるシステムをつくる

### 地域に開かれ身近に感じられる

#### 議場

- ・議員と情報を交換できるスペースをつくる
  - ・市民が気軽に立ち寄れる、開放的な議場にする
- 「具体的には」
- ・執行部と議員が議長を挟んで向かい合うようにする
  - ・議場をガラス張りにする
  - ・傍聴席を三方向から見えるようにする

#### 食堂

- ・市民と職員が直接話せるスペースをつくる
  - ・地域のお店の出店スペースを設ける
  - ・食堂の運営は地元の業者とする
  - ・職員だけでなく、市民も利用したいと思うようなくつろげるスペースとする
  - ・見晴らしの良い最上階
- 「例えばこんな使い方！」
- 花火大会時に庁舎を市民に開放 夏に屋上でビアガーデン

#### 市民が利用できる場所・運営

- ・市民に開放できる会議室をつくり、講座などを受けられるようにする。（生涯学習スペース）